

取付説明書

業務用換気警報器 【施工される方へ】

C405EGC3S_(00)_

型式名：XC-405EG

お客さまにこの業務用換気警報器を安全に正しくご使用いただくために、この取付説明書をよくお読みいただき、指定された工事を行ってください。

7 お願いとご注意

- 警報器の取り付けは、この取付説明書に従って、指定された工事を行ってください。
- 工事終了後に、必ず作動点検を行ってください。
万一、作動不良があったときは交換してください。
- 工事終了後に、「**6-1** 警報器の説明」「**6-2** お客さまへの周知事項」について、必ずお客さまに説明してください。

警告

- 取付期限を過ぎた警報器は、取り付けしないでください。
正常に作動しない恐れがあります。
取付期限は、個装箱に記載しています。
- 必ず警報時の連絡先および電話番号を記入してください。
記入欄を警報器に貼り付けてある連絡先シールに設けています。

注意

- 警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。
故障の原因となります。
- 分解や改造はしないでください。
発火・故障の原因となります。

2 取り付け前の確認

2-1 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1台	取扱説明書（保証書付）…1枚
	取付説明書…1枚
粘着フック…1個	脱落防止用 ゴムキャップ…1個
	

その他の準備品（市販品）

梱包部品とは別に取付場所に合わせて下記の用品を準備してください。

ステンレス/スチール等の壁面の場合

壁面の汚れ落とし (台所用クリーナーや中性洗剤等)	壁面の仕上げ拭き (ウェットティッシュ等)
	

配管の場合

縦配管の場合…結束バンド (1本)	
横配管の場合…結束バンド (2本)	

木の壁面の場合

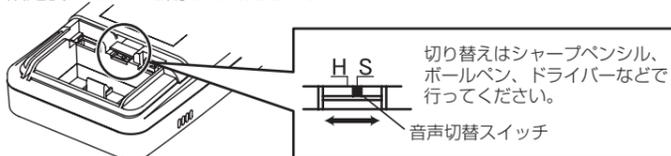
木ねじ (φ3) (推奨長さ: 16mm)	
--------------------------	---

2-3 警報音声切り替え・警報音声の言語切り替えについて

この警報器は「ソフト音声」と「ハード音声」の警報音声切り替え、「日本語のみ」と「日本語と中国語の交互」の警報音声の言語切り替えができますので、お客様に確認した上で必要に応じて設定を行ってください。

警報音声を切り替える場合

警報器裏面のカバーをコイン等を使って外し、音声切替スイッチを左右に動かし切り替えることで「ソフト音声」と「ハード音声」を選択できます。音声内容は右記の通りです。初期設定は「ソフト音声」です。設定後はカバーを閉じてください。



2-2 設置する前に

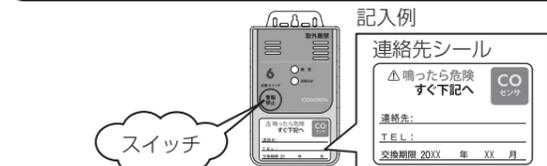
<連絡先等の記入>

- 連絡先シール
「連絡先および電話番号」「交換期限」を記入してください。
この警報器の交換期限は、お取り付け後6年間です。
- 保証書
「お取り付け日」「販売店(実施者)」欄を記入してください。

！必ず行う

<電源を入れる>
警報器の正面にあるスイッチを3秒以上押してください。

①スイッチを3秒以上押すと、「ピッ」と鳴り、同時に黄ランプと緑ランプが1回点灯します。(電源投入)
②黄ランプが約30秒間2秒ごとに1回点灯します。(作動点検中) ※
③「ピー正常です。」と終了音が鳴ります。(CO検知開始)



※手順②の作動点検中に異常を検知した場合は、点検終了後に異常内容を警報音声とランプ表示でお知らせします。異常内容は下記表の通りです。異常のときは警報器を交換してください。

警報器の状態	ランプ		出力される音声
	黄	緑	
機器異常	-	10秒ごとに3回	「ピッピッピッ 故障です。」
電池切れ	-	10秒ごとに1回	「ピッ 電池切れです。」
交換期限超過	-	10秒ごとに3回	「ピッ 交換期限を過ぎています。」

警報音声の言語を切り替える場合

警報器正面のスイッチを操作することで「日本語のみ」と「日本語と中国語の交互」を選択できます。操作手順は右記の通りです。
初期設定は「日本語のみ」です。



「日本語と中国語の交互」に切り替えたあと、「日本語のみ」に戻りたい場合は、もう一度同じ操作を繰り返してください。

手順	スイッチの操作	警報音声	出力される音声		ランプ	
			①	②	黄	緑
1	「ピッピッピッ」が鳴るまで押し続ける(約7秒間) ※1	/	① (約1秒後) 「ピッ」	② (約3秒後) 「ピッピッ」※2	1回	-
			③ (約7秒後) 「ピッピッピッ」	3回	-	
			ソフト	「ピッポッピッポッ 空気が汚れています。換気してください。ピッポッピッポッ 空気混浊, 请确认换气扇是否在正常工作。」	-	-
2	「ピッピッピッ」が鳴った直後離す	/	①	「ピッポッピッポッ 一酸化炭素中毒になる恐れがあります。ただちに換気してください。ピッポッピッポッ 空気混浊, 请确认换气扇是否在正常工作。」	-	-
			ハード	② 「ピー」(終了音)	-	-

※1 スwitchを12秒以上押さないでください。言語が切り替わりません。
※2 マイコンメーターと接続している場合は「ピッピッ」が鳴った直後、スイッチを離さないでください。出力点検動作となり、マイコンメーターを遮断します。

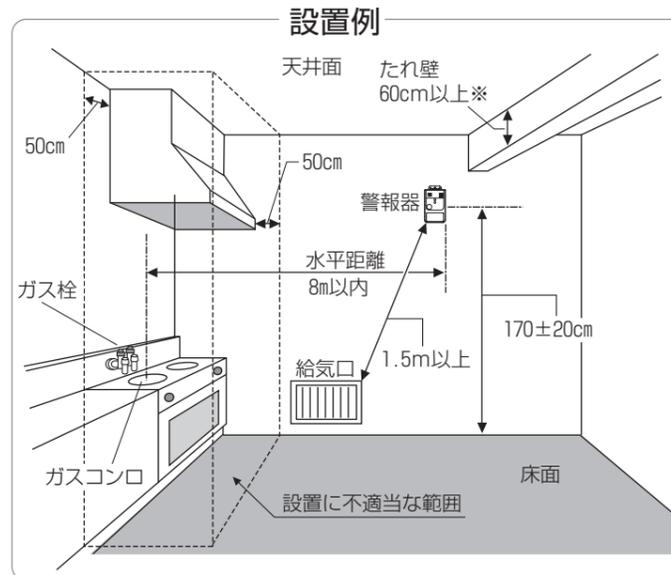
2-4 取付位置の確認

注意

この警報器は取付位置が家庭用の不完全燃焼警報器と異なります。正しい取付位置に取り付けてください。取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

<正しい取付場所について>

下図の設置例を参考にして、ランプ表示が確認しやすく、警報器のスイッチ(点検、警報音停止兼用)が操作しやすい位置に取り付けてください。



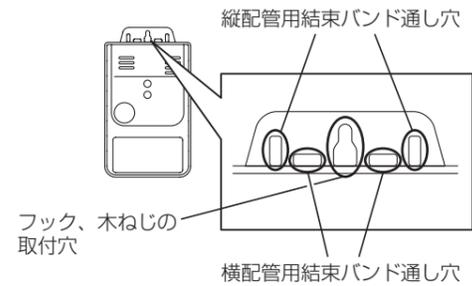
※60cm以上のたれ壁がある場合は、ガスコンロ側に設置してください。

<取り付けてはいけない場所について>

- 禁止** 以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
 - すき間風の入る場所。
 - 60cm以上のたれ壁で区切られている場所。
 - エアコンなどの吹出口に近い場所。
警報が遅れたり、検知できないことがあります。
 - 温度が0℃～+50℃の範囲をこえる場所。
警報器としての機能を果たしません。
また、誤作動の原因になります。
 - シンク付近など、水のかかる場所、水滴がつく場所。
感電や電氣的故障の原因になります。
 - 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。
 - 振動、衝撃の激しい場所。
センサの故障の原因になります。
 - 高温、低湿度な場所。
ボイラー室等。
 - 屋外。
業務用厨房専用です。

3 取り付けかた

あらかじめ警報器の取付位置をきめてください。
 取り付けには付属品の粘着フックか、市販品の結束バンドもしくは木ねじをご使用ください。
 粘着フックまたは結束バンドでお取り付けの場合、警報器の定期点検時（1ヶ月に1度）に粘着力の点検またはゆるみがないか確認してください。



ステンレス/スチール等の壁面の場合 【粘着フックで取り付ける手順】

①	<p>平らな壁面を選んで、台所用クリーナーまたは中性洗剤をウェットティッシュに付けて、汚れを拭き取ってください。</p> <p>ポイント 広い範囲を拭き取ると汚れた部分が目立つことがあります。粘着フックを貼り付けるために必要な範囲だけを拭き取ることをお勧めします。</p>	
②	<p>薬剤が壁面に残っている場合は、ウェットティッシュで拭き取ったあと十分に乾燥するまで待ってください。</p>	
③	<p>粘着フックを空気が入り込まないように均等に強く押し付けて壁面に貼り付けてください。オープンやレンジなど高温になるところには貼り付けしないでください。</p> <p>ポイント 取付直後は、接着面がなじんでいませんので、しばらく時間をおいてください。（約5分程度）警報器を引っ掛けることを考慮して貼り付け位置を決めてください。一度、壁面から剥がしたフックは再度使用しないでください。</p>	
④	<p>粘着フックに警報器を引っ掛けてください。</p>	
⑤	<p>フック先端へ脱落防止用ゴムキャップを取り付けて作業終了です。</p> <p>お客さまには警報器の下に、水や油の入った容器などを置かないように説明してください。</p>	<p>脱落防止用ゴムキャップ</p>

配管の場合 【結束バンドで取り付ける手順】

①	<p>結束バンドを警報器の配管用結束バンド通し穴に通してください。</p> <p>結束バンドの使用数 縦配管…1本 横配管…2本</p>	<p>縦配管の場合</p> <p>裏面から通す</p>	<p>横配管の場合</p> <p>通す</p>
②	<p>配管を囲むように結束バンドを結びつけて作業終了です。</p>	<p>縦配管の場合</p> <p>きつく締め上げる</p>	<p>横配管の場合</p> <p>きつく締め上げる</p>

木の壁面の場合 【木ねじで取り付ける手順】

①	<p>木ねじを途中までねじ込み、仮止めしてください。</p>	
②	<p>仮止めた木ねじに、警報器の取付穴を引っ掛けてください。</p>	
③	<p>木ねじを締め付け、警報器を固定して作業終了です。</p>	

粘着フックでの取り付けに際して

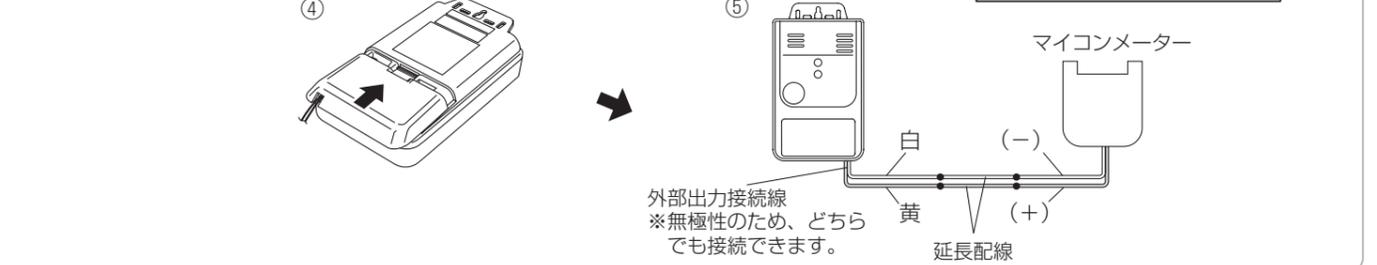
粘着フックの保持力の寿命は、使用環境によって大きく異なります。粘着力は経時的に低下しますので、警報器の定期点検時（1ヶ月に1度）に合わせて粘着力の点検も行い、必要に応じて交換することをお勧めします。

4 マイコンメーターと接続する場合

マイコンメーターと接続する場合は、マイコンメーターの取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。また、接続には外部出力線（別売品：型式名LL-14）をご使用ください。

<マイコンメーターとの接続方法>

- ①警報器裏面のカバーをコイン等を使って外します。
- ②カバーの外部出力線引き出し部をニッパー等で切り取ります。
- ③外部出力接続線（別売品：型式名LL-14）を外部出力コネクタに接続し、外部出力接続線を溝に収めます。
- ④カバーを閉じます。
※外部出力接続線を、はさみ込まないように注意してください。
- ⑤外部出力接続線を市販の配線で延長し、マイコンメーターに接続します。



5 取り付け後の点検

5-1 単独点検

以下の手順でスイッチを押して、正常に作動するか点検してください。

手順	スイッチの操作	出力される音声	[CO警報履歴] CO警報が過去に鳴った回数	ランプ		外部出力信号
				黄	緑	
1	1秒押す※1	「ピッ」（開始音）	-	1回	-	-
2	「ピッ」が鳴った直後離す	① 正常時 「正常です。」	-	-	-	-
		② 予報時※2 「換気してください。」	0回	-	-	-
			1~15回	1回	※3	
			16~50回	2回		
			51回以上	3回		

- ※1 スwitchを3秒以上押さないでください。マイコンメーターと接続している場合は出力点検動作となり、マイコンメーターを遮断します。
- ※2 警報器周囲のCO濃度が一定以上（警報レベル未満）の場合に作動します。換気してください。
- ※3 過去約10日以内に故障警報（機器異常、電池切れ）を発した履歴がある場合は、緑ランプが1回点灯します。【故障警報履歴表示機能】
- ※ 電源投入後から約25分以内のCO警報および故障警報は履歴に残りません。また、予報時にはCO警報履歴および故障警報履歴の表示は行いません。

5-2 出力点検

マイコンメーターと連動して使用する場合は、以下の手順でスイッチを押して、出力点検を行ってください。

手順	スイッチの操作	出力される音声	ランプ		外部出力信号
			黄	緑	
1	3秒押す※1	①（約1秒後）「ピッ」	1回	-	-
		②（約3秒後）「ピッピッ」（開始音）	2回	-	-
2	「ピッピッ」が鳴ったあと離す	① 「ピッピッピッ」 空気が汚れています。換気してください。」※2	1秒ごとに1回	-	出力約1分間継続
		②（約1分後）「ピー」（終了音）	-	-	-

- ※1 スwitchを7秒以上押さないでください。言語が切り替わります。
- ※2 「2-3」警報音声切り替え・警報音声の言語切り替えについてで設定された音声を出力します。初期設定は「ソフト音声」「日本語のみ」になっています。
- <1分以内に点検を終えたいとき>
上表手順2の音声終了後にスwitchを約1秒押すと、「ピー」と終了音が鳴り、点検が終了します。

お願い 出力点検後は、必ずマイコンメーターの取扱説明書に基づいてマイコンメーターを復帰させてください。

6 お客さまへの説明について

警報器の取り付け、点検が終わったら、お客さまに以下の説明を行い、ご理解を得てください。

6-1 警報器の説明

- ①警報動作および点検結果の説明。
- ②取扱説明書および保証書を必ず読んでいただくことをお願い。
- ③保証書および取扱説明書の保管をお願い。
- ④取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 1. CO警報およびCO予報の内容（黄ランプ点灯、音声の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。（「取扱説明書」の 3、4、6 参照）
 2. 機器異常・電池切れ・交換期限超過時の動作（緑ランプ点灯、音声の確認）と処置の説明。（「取扱説明書」の 5、6 参照）
- ⑤設定音声の確認。

6-2 お客さまへの周知事項

- ①警報器の交換期限は、お取り付け後6年間であること。（本体に貼り付けてある連絡先シールに表示）
- ②警報器の移設禁止。（移設依頼の連絡先）
- ③警報器の分解禁止。
- ④機器異常・電池切れ・交換期限超過時の連絡先。
- ⑤定期点検（1ヶ月に1度）の実施。（「取扱説明書」の 7 参照）